平成23年7月4日 野菜需給部

野菜の需給・価格動向レポート(平成23年7月4日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

	主要野菜の生		6月の価	插格動向						
種類		(参考) 保証基準額の 指定野菜の関東・近畿ブロック 保証基準額の 旬別平均販売価額			と ブロック	生育及び価格の7月の見通し				
		保証基準額の 算定の基とな る平均価格	上旬	いた () () () () () () () () () (下旬					
	キャベツ	67. 2	37	42	75	・入荷見込量: 15, 103t (102) ・主産地: 群馬 (61) 、岩手 (14) 、茨城 (8)	・群馬産は高温の影響により生育が停滞気味で少なめの出荷となっているが、今後は生育が回復し順調な出荷となる見込み。岩手産は定植時期が遅れたこと等から生育遅れ、小玉傾向がみられ、平年より少なめの出荷となっている。 ・出荷量が少なめと見込まれることから、価格は上旬は平年をやや上回って推移			
		81. 66	44	59	88	・入荷見込量:3,600t (109) ・主産地:長野(38)、群馬(36)、茨城 (14)	するが中旬は平年並みの見込み。			
	ねぎ (関東:白ねぎ。 関西:青ねぎ)	264. 1	337	255	253	・入荷見込数量:3,979t (102) ・主産地:茨城 (61)、千葉 (15)、輸入 (8)、埼玉 (7)	・茨城産は順調な生育で平年より多めの出荷となっている。千葉産は少なかった 前年よりは多いものの、平年並みの出荷量で推移する見込み。 ・茨城産の順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込 み。			
		334. 73	371	333	336	・入荷見込数量:230t (96) ・主産地:香川 (36) 、大阪 (15) 、徳島 (15) 、高知 (9) 、奈良 (9) 、三重 (7)	***			
	147.41	67. 05	47	58	63	・入荷見込量:6,024t(100) ・主産地:長野(86)	・長野産は順調な生育となり平年並みの出荷となる見込み。 ・順調な出荷が見込まれる一方、需要の伸びが見込めないため価格は平年並みか 弱含みで推移する見込み。			
葉茎	はくさい	82. 06	84	68	67	・入荷見込量: 2,400t (98) ・主産地: 長野 (98)				
菜	ほうれんそう	376. 1	418	442	435	(21) 、岩手 (18)	・茨城産は震災、原発の影響で作付面積が減少しており、今後も少なめの出荷が 続く見込み。群馬産は6月中旬の降雨とその後の気温上昇により品質低下がみられ、少なめの出荷となっているが、中旬以降増加が見込まれる。 ・群馬産の出荷量の増加が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込			
		396. 89	478	580	562	・ 土産地: 岐阜(83)、 北海道(8)、	み。			
	レタス	126. 45	144	117	107	・入荷見込量:8,516t (100) ・主産地:長野 (83)、群馬 (12)	・長野産、群馬産ともに準高冷地から高冷地への出荷の切り替わりの時期となっているが生育は順調で、平年を若干上回る出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みかやや弱含みに推移する見込み。			
		132. 22	176	125	116	・入荷見込量: 2,100t (102) ・主産地:長野 (99)				
	たまねぎ	71. 02	58	64	68	(10) 、輸入 (4)	・佐賀産は降雨の影響で少なめの出荷となっている。収穫は終了し今後は貯蔵ものの出荷となる。少なかった前年よりは多い見込み。兵庫産は収穫が終了、平年並みの出荷の見込み。 ・府県産の順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込			
		71. 02	65	68	68	- 王産地: 兵庫 (92)	み 。			
	きゅうり	189. 84	342	224	287	(11)、宮城(5)、埼玉(4)	・福島産は春先の低温、作付開始の遅れから生育遅れがみられ、露地ものの本格的な出荷の開始は上旬の見込み。岩手産も出荷開始が遅れており、中旬から本格的な出荷の見込み。・東北産の本格的な出荷開始が遅れていることから、価格は平年を上回って推移			
		177. 22	317	265	290	・入荷見込量: 2,100t (95) ・主産地: 福島(45)、北海道(15)、 愛媛 (13)、香川(6)				
	トマト	209. 6	295	280	315		・青森産は生育の遅れからやや少なめの出荷となっている。今後は徐々に出荷量が増加する見込み。栃木産は震災後の定植の遅れからやや少なめの出荷となっているが、天候が回復すれば平年並みの出荷の見込み。 ・東北産、関東産の夏秋ものの出荷が遅れていることから、価格は平年を上回っ			
果		228. 5	291	299	340	・主産地:北海道(33)、岐阜(16)、愛知(9)、石川(7)、熊本(7)	て推移する見込み。			
菜	なす	297. 1	410	412	469	・入荷見込量: 4,790t (98) ・主産地: 群馬 (27) 、茨城 (26) 、栃木 (26) 、埼玉 (8)	・群馬産・茨城産ともに5月の日照不足の影響により、生育が遅れ少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷が続く見込み。 ・少なめの出荷量が見込まれることから、価格は平年を上回って推移する見込み。			
		285. 3	354	391	374	・入荷見込量: 1,100t (96) ・主産地: 徳島 (22) 、大阪 (20) 、山梨 (14) 、奈良 (11) 、京都 (10)	,龙松充体,山井内收船大河之港小场点长线,山井具体宽大头。12.14.45.14.15.15.15.15.15.15.15.15.15.15.15.15.15.			
	ピーマン	251. 5	454	334	368	・入荷見込量: 2,064t (100) ・主産地: 茨城 (60) 、岩手 (25) ・入荷見込量: 370t (114)	・茨城産は、出荷の終盤を迎え減少傾向だが、出荷量は平年並みに推移する見込み。岩手産は低温少雨の影響で生育が遅れ、少なめの出荷となっている。・岩手産が遅れていることから、価格は平年を上回って推移する見込み。			
		253. 95	423	358	427	・ 入何兒込重: 370t (114) ・主産地: 宮崎 (17) 、大分 (15) 、兵庫 (15) 、福島 (12) 、北海道 (9) 、和歌山 (7) 、愛媛 (6) ・ 入荷見込量: 8,386t (95)	・北海道産は、播種時期が遅れたことにより1週間~2週間遅れており、7月中旬			
		91. 15	75	72	87	· 主産地:北海道 (50) 、青森 (42)	・北海道産は、権種時期が遅れたことにより「週間~2週間遅れており、/月中旬までは少なめの出荷が続く見込み。青森産は、順調な生育で平年並みの出荷で、下旬には出荷のピークを迎える見込み。 ・青森産の順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。			
根菜		104. 71	75	83	100	・主産地:北海道(610)、岐阜(16)、青森(10) ・入荷見込量:5.538t(100)	・ 青森産は、生育の遅れが生じていたが、天候の回復とともに順調な出荷となっ			
*	にんじん	133. 01	125	105	102	・主産地:青森(45)、千葉(27)、北海道(18)、輸入(5) ・入荷見込量:2,500t(109)	で、			
		139. 6	108	108	116	· 主產地: 青森 (29) 、長崎 (27) 、北海 道 (25) 、和歌山 (11)				

		6月の価格動向							
種類		保証基準額の	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額			生育及び価格の7月の見通し			
		算定の基となる平均価格	上旬	中旬	中旬 下旬				
	さといも	344	802	606	414	・入荷見込量:363t ・主産地:鹿児島(47)、宮崎(38)、輸入 (10)	・鹿児島産は、冬場の低温の影響で少なめの出荷となっていたが、作柄が回復し 平年並みの出荷となっている。今後も平年並みの出荷が見込まれる。宮崎産は生 育が遅れ、少なめの出荷となっているが、今後増加する見込み。 ・価格は平年並みに推移する見込み。		
い	22110	347. 9	1009	593	437	・入荷見込量: 97t ・主産地: 鹿児島(52)、宮崎(16)、愛媛 (14)	画 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
ŧ	ばれいしょ	131.8	197	167	142	· 入荷見込量: 5,942 (101) · 主産地: 茨城 (30) 、千葉 (20) 、静岡 (17) 、長崎 (14)	・茨城産・千葉産ともに順調な出荷の見込み。静岡産は6月下旬から本格的な出荷開始となり、平年並みの出荷の見込み。 ・価格は、平年並みに推移する見込み。		
		131.8	206	167	156	・入荷見込量:3,000t (96) ・主産地:長崎(23)、千葉(22)、北海 道(20)、茨城(10)、静岡(9)、愛知 (6)			

- ありは下回るもの (消費税は除く)。 3)単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック

野菜の需要動向

家計調査でみると、 5月の1人当たりの生 鮮野菜の購入量は、 5,171gで対前年比 105%、購入金額は、 ,820円で同93%とな り、購入量は前年を上回ったが、購入金 額は前年を下回っ

た。 また、小売物価統 計によると、6月の キャベツの小売価格 は103円で過去5年平 は100円で遡去5年半 均比65%、レタスは 295円で同82%となり、キャベツ、レタ スともに過去5年比を 下回り、特にキャベ ツが大きく下回って いる。

1 生鮮野菜の購入量及び金額

過去5か年平均

購入量(g) 金額(円)

平成23年 購入量(g) 前年比 金額(円) 前年比 購入量(g) 金額(円) 101 103 101 95 93 0 0 0 0

(1人当たりの購入量、金額)

	I月	4.189	1, 529	4, 240	1, 551	4.310	102	1.5/3	- 10
ľ	2月	4,391	1, 544	4, 461	1, 574	4, 267	96	1, 629	10
	3月	4,767	1, 695	4, 970	1, 768	4. 867	98	1, 788	10
	4月	4.732	1, 808	4, 518	1. 884	4, 796	106	1. 789	9
	5月	5.094	1, 902	4, 925	1, 965	5, 171	105	1, 820	9
	6月	5,033	1, 880	5, 026	1, 907		0		
	7月	4,438	1, 683	4, 264	1, 697		0		
	8月	4.272	1, 732	4, 241	1, 733		0		
	9月	4,868	1, 806	4, 606	1, 818		0		
	10月	5,314	1, 849	4, 994	1, 959		0		
	11月	4.997	1, 614	4. 678	1, 774		0		
	12月	5.212	1. 817	5. 177	1. 887		0		
		資料:総務省「家	計調査報告(二人以	以上世帯農林漁家	世帯を除く)」				

平成22年

キャベツ 比 (%) 101 119 109 過去5カ 年平均 過去5カ 比(%) 9月 10月 11月 12月 H23.1月 2月 3月 4月 146 129 146 189 173 192 265 185 186 228 206 195 81 128

2 主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移

過去5ヵ年はH22.7~はH17~H21、H23.1~はH18~H22の平均6月の値は、6月中旬の速報値

資料:総務省統計局「小売物価統計調査報告」

野菜の輸入動向

平成23年5月までの の輸入量を貿易統計 でみると、生鮮野菜 は前年同期比126%の 45万トン、野菜輸入 量全体でみると同 116%の119万トン、ラ ち中国産同116%の119 万トンとなり、引き 続き前年を上回って 推移している。

野菜等の輸入数量の推移について

(単位・トン.%)

묘日

ı										
	区分	平成21年		平成22年		平成23年1	~5月	平成23年5月		
			前年比		前年比		前年同期比	前年同期比		
	生鮮野菜	615, 271	102	820, 687	133	448,411	126	110		
	加工野菜	1, 569, 627	95	1, 677, 840	107	742,627	111	113		
	野菜輸入量合計	2, 184, 898	97	2, 498, 527	114	1,191,038	116	112		
	うち中国産野菜合計	1, 098, 415	95	1, 284, 449	117	581,363	121	112		
	中国産シェア	50		51		49				
1										

資料:ベジ探 (原資料)財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入動向

(単位: トン、%) 輸入先 (A)20106(B)20116(B)/(A)

四日		判りくし	(A) 2010.0	(D)2011.0	
たまねぎ	合計		29,683	13,588	46
		中国	27,499	12,982	47
		オーストラリア	427	318	74
にんじん	合計		4,816	3,516	73
		中国	3,976	2,940	74
		ニューシ゛ーラント゛	635	374	59
ねぎ	合計		4,083	2,951	72
		中国	4,081	2,949	72

資料:農林水産省「植物防疫統計」(2011.6)は、6月18日までの速報値である。

4 トピック きゅうりの需給動向 について

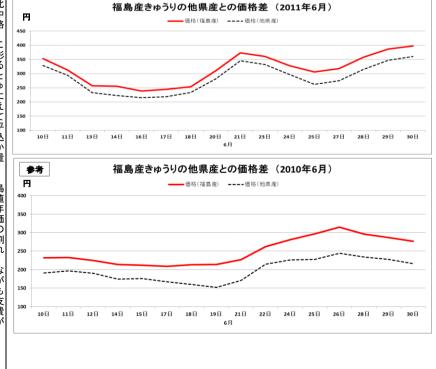
心とした出荷が本格化する。

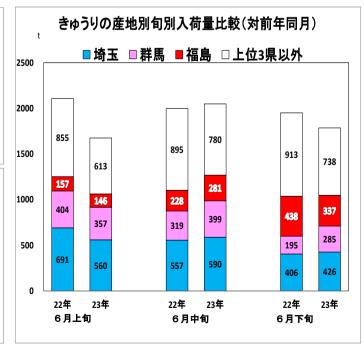
こなると思われる。

格差が小さいものの、他県産よりは1割程度高値で取引され

今後とも、的確な 情報に即した販売が 求められるととも に、被災産地への支援のためにも、消費拡大に努めることが 重要と考えられる。

東京都中央卸売市場における福島産のきゅうりの価格と入荷量比





資料:「ベジ探」、原資料:農林水産省「青果物日別取扱高統計結果」

- ●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 「需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484
- ◆「野菜需給・価格レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のお問い合わせから https://www.alio.go.jp/form/vegetan.html
- ★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 http://www.alic.go.jp/y-suishin/yajukyu01 000076.html